

## 決議

地球規模の異常気象に伴う大規模災害の頻発化、新型コロナウイルスの世界的感染拡大、さらにはロシアのウクライナ侵略により、食料安全保障を巡る負の影響が国際社会に生じている。日本の農業・農村に目を向けると、農業従事者の高齢化や減少により、農地や農業水利施設の管理に支障が生じていることで営農の継続が困難になるなど、地域の活力低下が懸念されている。

このような中、令和2年3月に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」、令和3年3月に閣議決定された「土地改良長期計画」及び令和3年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、農地の大区画化・汎用化等の整備とその集積・集約、また、スマート農業の展開に向けた基盤整備を推進し、更に、全国各地で農業水利施設等の老朽化が進行する中、これら施設の維持・更新を適時適切に行い、担い手に引き継いでいくことが必要不可欠である。加えて、近年、気候変動による豪雨災害や大規模地震が頻発しており、洪水被害防止対策やため池等の耐震化などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が極めて重要な課題となっている。

水土里ネットには、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務があるとともに、国民の生命と財産を守るため、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していかなければならない。

以上を踏まえ、水土里ネット鹿児島は関係者と一致団結し、農業農村整備事業を強力に推進するため、各事項の実現を、第六十五回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一 農業の競争力強化の実現に向けた、農地の大区画化・汎用化の積極的な推進
- 一 高収益畑作経営の展開を図るための畑地かんがい施設整備の推進
- 一 農業水利施設の長寿命化対策、耐震化や洪水被害防止等の防災・減災対策の推進
- 一 中山間地域の特色を活かした基盤整備と総合的農村振興施策の一体的推進
- 一 地域資源の良好な保全管理に向けた水土里サークル活動の積極的な推進
- 一 土地改良区の運営基盤強化と男女共同参画を踏まえた多様な人材の確保を推進

令和五年三月二十二日

水土里ネット鹿児島

鹿児島県土地改良事業団体連合会

第六十五回 通常総会